

Unify VISION 4 (Windows) インストールガイド

インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるには、弊社発行のライセンスキーが必要になります。まず、本リリースに添付されている「**ユーザ登録書（兼ライセンスキー発行依頼書）**」に必要事項をご記入の上、FAXにて弊社までご返送下さい。折り返し、ライセンスキーを発行致します。
- ・ 本リリースをインストールするには、約90MBのディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。
- ・ 実メモリは、32MB以上が必要です。
- ・ VISION リリース2または3からアップグレードする場合は、**リリース2または3をアンインストールした後でリリース4をインストール**して下さい。アンインストールは「マイコンピュータ」-「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」から実行します。この他の方法で旧リリースのファイルを削除した場合、リリース4は正常に動作しない場合がありますので御注意ください。
- ・ VISION リリース2または3からアップグレードする場合は、必ず「**Unify VISION バージョンアップ**」マニュアルをご参照下さい。
- ・ VISION リリース2からアップグレードする場合で、かつ vision.vr ファイルの機能をカスタマイズしている場合は（例：カスタムクラスやカスタムコマンドを登録している）、現行の vision.vr ファイルを削除しないで下さい。VISION リリース4を始めて起動した時に、この vision.vr ファイルから全プリファレンス情報が取得され該当情報は vision1.vr ファイルに格納されます。
- ・ VISION リリース4では、\$HOME の vision.vr および vgalaxy.vr ファイルは使用されません。代わりに vision1.vr および vgalaxy1.vr ファイルが使用されます。これらのファイルは、リリース2とリリース4では互換性がありません。
- ・ リリースのCD-ROM内にあるREADMEファイルを必ずお読みください。本リリースが対応する環境、制限事項および、その他の重要な情報が記載されています。

Unify VISION のインストール

CDドライブにCD-ROMを挿入するとインストールは自動的に開始されます。もし、開始されない場合は「マイコンピュータ」の「CD-ROM アイコン」をクリックし、次に setup.exe をダブルクリックして下さい。インストールが開始されます。各ダイアログボックスのメッセージへ応答して下さい。

はじめのステップで、インストールする製品のタイプを選択します。選択した製品タイプと入力したライセンスキーが適合していない場合は警告メッセージを示しインストールは中断されます。

もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは Unify Japan サポートセンターまでご連絡下さい。

パッチのインストール方法について

パッチをインストールする場合は先ずパッチ付属のリリースノートに記載された内容をご確認ください。次に、Unify VISION のサービスやアプリケーションを全て停止してから、パッチ対象ファイルのバックアップを作成し、パッチをインストールします。パッチの対象モジュールによっては、ライセンスの付与が必要となります。DOS のコマンドプロンプトより下記の手順で Unify VISION のユーティリティである `instlic` を用いてライセンスを付与します。

```
instlic -p vision -k <キーの文字列> <対象オブジェクト名>
```

VISION.EXE にライセンスを付与する場合の実行例：

```
cd <VISION_INSTALL_DIR>\%bin  
instlic -p vision -k XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX VISION.EXE
```

ここで、XXX... はライセンスキーを示します。実際のキーに読み替えてください。

なお、パッチの対象モジュールが下記の何れかに相当する場合はライセンスを付与する必要があります。

BIN\%UOHOSTD.EXE
BIN\%UOROUTER.EXE
BIN\%UIIIS.DLL
BIN\%UIINS.DLL
BIN\%UIIAS.DLL
BIN\%VISION.EXE
BIN\%VLIB.EXE
BIN\%VPROF.EXE
BIN\%UOWEBD.EXE
BIN\%VDEV.EXE
BIN\%VCPL.EXE
BIN\%VXLATE.EXE

以上